

小山小学校の教育についてのアンケート結果の報告

◆ 保護者アンケート

2学期末に、保護者の皆様には学校の教育に対するアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。いただいた結果の傾向が分かるように、グラフに表しました。また、自由記述としてお寄せいただきましたご意見に対しても、学校内で会議を通して共有したうえで、今後の教育活動に生かしてまいりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

〈質問事項〉

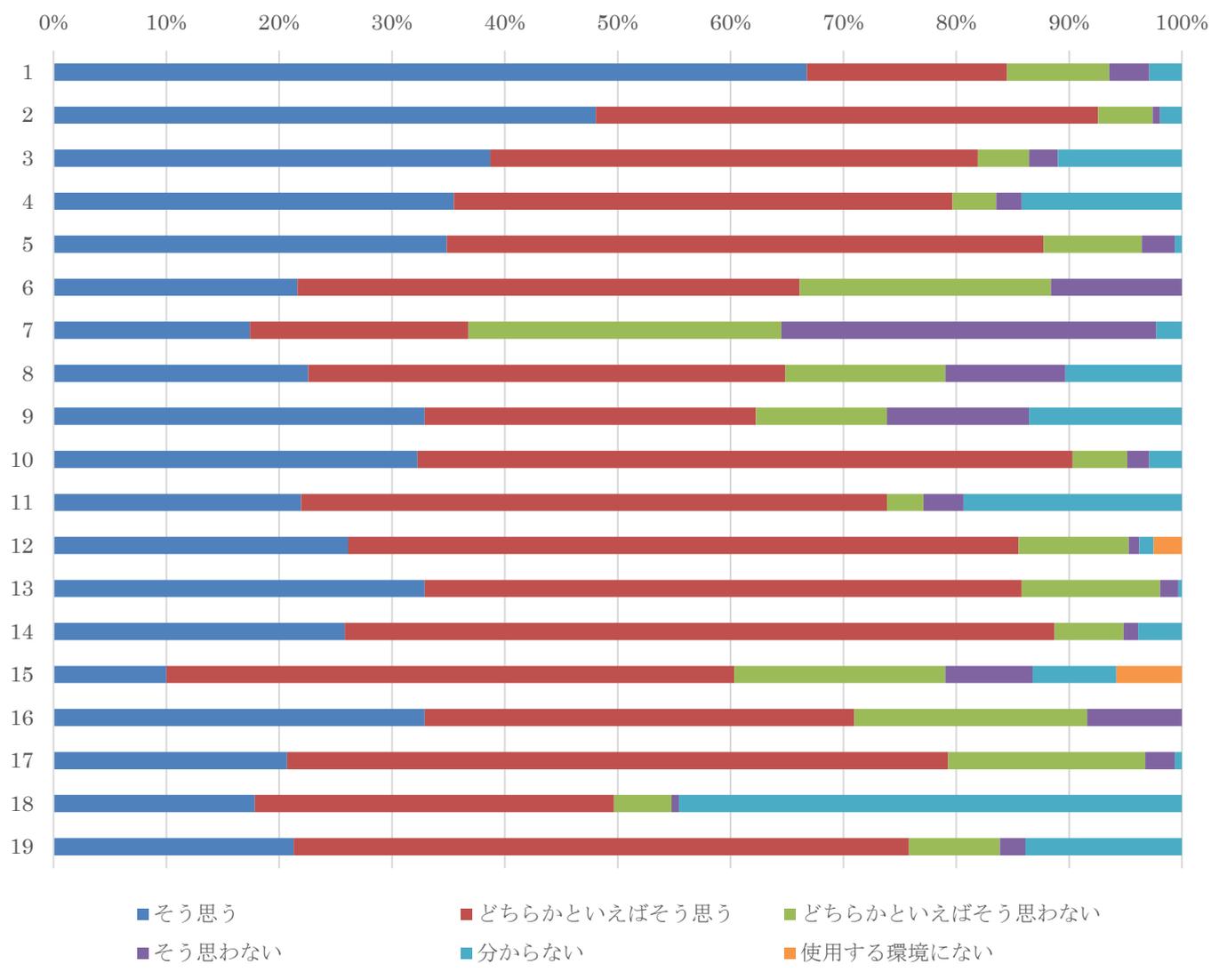
I お子様の様子、学校の現状等などからご回答ください。	
1	学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。
2	学校は、保護者や地域の方に対して教育活動に関する情報発信をしている。
3	学校は、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている。
4	学校は、学校運営協議会の制度を生かし、保護者や地域と一体となって子どもたちを育てている。
5	お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている。
6	お子様は、自らすすんで宿題や家庭学習に取り組んでいる。
7	お子様は、自らすすんで読書をしている。
8	お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。
9	お子様は、ICT（学習機器）を週3回以上活用している。
10	お子様は、生命を大切にする心や他人を思いやる心が育っている。
11	学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人権を大切にしている。
12	お子様は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。
13	お子様は、あいさつをきちんとしている。
14	お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている。
15	お子様は、ICT(学習機器)、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。
16	お子様は、日常的に、運動やスポーツ（遊びや部活動を含む）に積極的に取り組んでいる。
17	お子様は、食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身に付いている。
II 保護者の方が感じている学校の現状等について、ご回答ください。	
18	学校は、小・中学校の教員が互いの授業を見て情報交換したり、中学生が小学生に対して部活動見学や学校説明会を実施したりするなど、小山中学校と連携した教育活動に取り組んでいる。
19	学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。

《回答の要領》

1～19について、下記の規準をもとに、該当する回答欄にお答えください。

A	質問に対して、そう思う
B	// どちらかといえば、そう思う
C	// どちらかといえば、そう思わない
D	// そう思わない
E	// 分からない
F	// 使用する環境にない

保護者向けアンケート「共通の評価項目」集計結果グラフ



《考察および改善点》

保護者アンケートは、今年度から各家庭1回答になりました。11月に実施し310件のご回答があり、回答率は59%です。

高評価の項目について、「学校の教育活動公開（項目2）」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が全体の85%以上を占め、学校公開や行事に対する透明性や積極性が高く評価されています。また、「お子様の学校のきまりや家庭のきまりの遵守（項目12）」や「お子様の挨拶への取り組み」も評価が高く、子供たちの規範意識やマナーが育っていると考えられます。

改善の余地がある項目について、「お子様は、ICT（学習機器）、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている（項目15）」は、前回の14%を下回り10%まで落ち込んでいます。考えられる背景としては、ICT機器が子供たちの生活の中に当たり前にある存在となって5年が経ち、ネットリテラシーについて学ぶ機会が増えたもののそれらによるトラブルも増加していることが挙げられます。本校職員は「SNS等によるトラブルは保護者の協力を得ながら、当然起こりえる問題として先回りして指導する」ことを共通認識として年度当初などに子供たちと一緒に考えていくことが大切です。「お子様がすすんで読書をしている（項目7）」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が全体の40%を下回り昨年よりも10ポイント以上低下していることから、より一層読書活動を推奨していくことが課題です。「小山中との連携（項目18）」は今年度質問文を具体的にしたこと、「そう思う」が5ポイント上昇しましたが、「分からない」も微増しました。より分かりやすい文言に変更するか活動内容を学校から発信していくことが必要です。実際の連携活動の多くは3学期に行われますので、活動の様子はHP等でお知らせしていきます。

その他の注目点については、「外国語学習（項目8）」については昨年度「分からない」が23%に対し今年度は11%に半減したことは本校の外国語専科とALTなどの外部講師の努力の賜物です。しかし、「そう思わない」の割合も増えていることから、さらなる情報発信によって子供たちが楽しく学んでいる様子を伝えていきたいです。

本アンケートの結果を教員内で共有し、次年度の教育活動の向上や改善に結びつけていきます。教員一同、今後もより一層努力してまいります。

保護者アンケートに加えて、11月に児童の学校生活に関するアンケートも実施いたしました。質問内容のおおよそは保護者アンケートと対応しております。こちら、集計結果の傾向が分かるように、グラフに表しました。これらの結果を保護者アンケートと合わせて分析し、来年度からの教育活動に生かしてまいりたいと思います。

〈質問事項〉

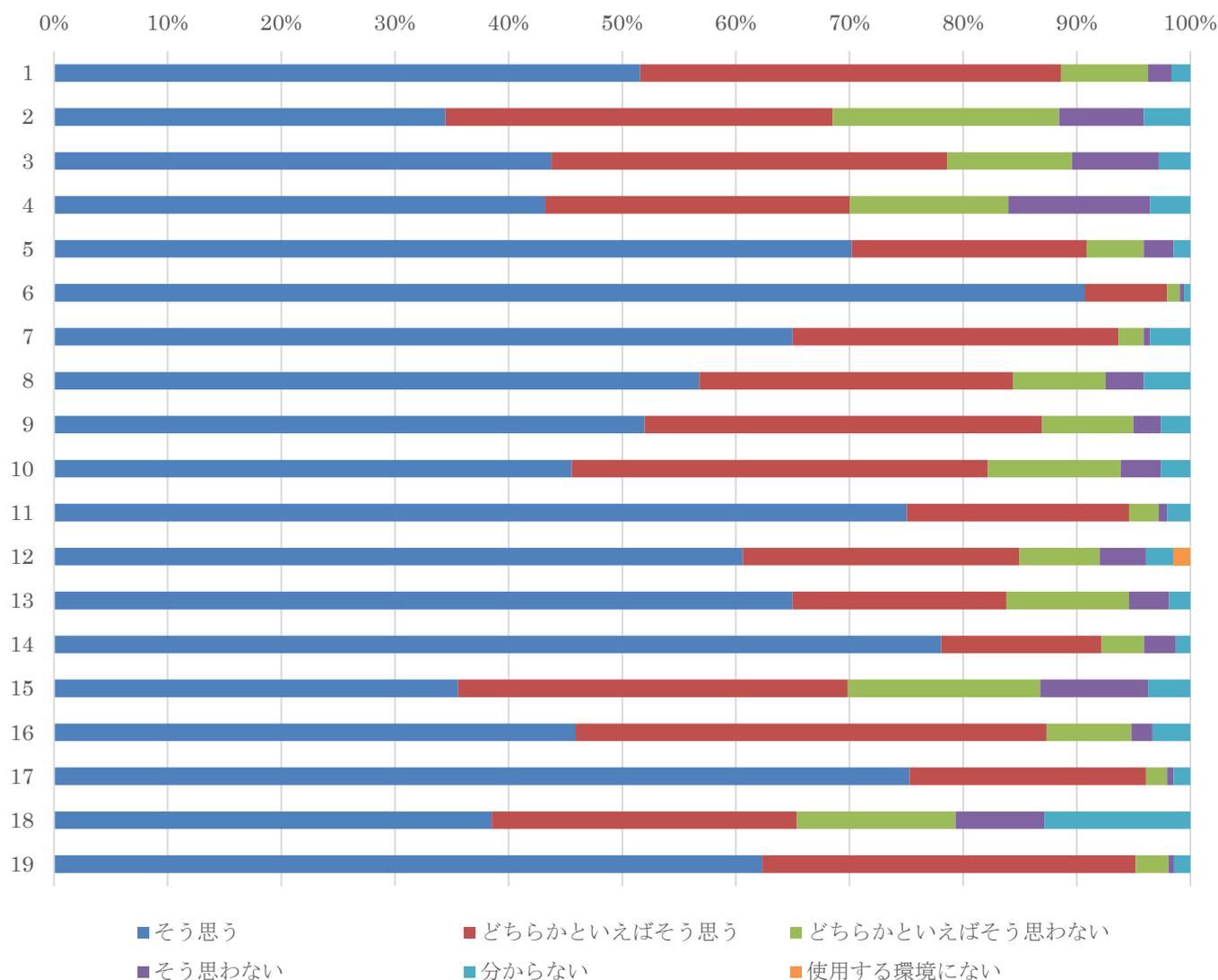
1	あなたは、 <small>いま がくしゅう</small> 今、学習していることがだいたいわかっていますか。
2	あなたは、 <small>おもったこと を はっぴょう</small> 思ったことを発表したり、わからないことを質問したり、できますか。
3	あなたは、 <small>しゅくたい いま がくしゅう</small> 宿題や家で学習に進んで取り組んでいますか。
4	あなたは、 <small>ほん よ</small> 本を読むのが好きですか。
5	あなたは、 <small>がっこう にの</small> 学校で楽しく過ごしていますか。
6	あなたは、 <small>なか</small> 仲のよい友だちがいますか。
7	あなたは、 <small>ともだち</small> どの友達にもやさしくしていますか。
8	あなたは、 <small>えいご がくしゅう たの</small> 英語学習に楽しく取り組んでいますか。
9	あなたは、 <small>がっこう</small> 学校のきまりやおうちの人との約束を守っていますか。
10	あなたは、 <small>せんせい とみだち ちいき ひと</small> 先生や友達、地域の人に自分からあいさつをしていますか。
11	あなたは、 <small>あんぜん き</small> 安全に気をつけて登下校していますか。
12	あなたは、 <small>けいだい でんわ</small> パソコン、携帯電話、スマートフォン、 <small>ゲーム</small> ゲーム機などを、 <small>おうちの人との約束</small> おうちの人との約束を守って使っていますか。
13	あなたは、 <small>そと あそ</small> 外で遊んだり、 <small>うんどう</small> 運動したりするのが好きですか。
14	あなたは、 <small>あさ</small> 朝ごはんをしっかり食べていますか。
15	あなたは、 <small>はや はやお</small> 早ね早起きができていますか。
16	あなたは、 <small>じかん</small> そうじを時間いっぱい取り組んでいますか。
17	あなたは、 <small>がっこう たいせつ</small> 学校のものを大切につかっていますか。
18	クラスの中でおすすめの本を紹介する時間や、みんなで読書をする時間がありますか。
19	(1～4年) あなたは、たてわり活動で、5・6年生の話をしっかり聞いて取り組んでいますか。 (5・6年だけ) あなたは、たてわり活動や委員会活動、クラブ活動に進んで取り組んでいますか。

《記入の要領》

1～19について、次の規準をもとに、回答欄の数字に○をつけてください。

1	質問に対して、とてもそう思う・よくあてはまる
2	// そう思う・だいたいあてはまる
3	// あまり思わない・あまりあてはまらない
4	// 全く思わない・あてはまらない
5	// 分からない
6	// 使っていない(質問12のみ)

令和7年度児童向けアンケート「共通の評価項目」集計結果グラフ



《考察および改善点》

児童アンケートは、1年生から6年生まで全員を対象に11月に学校で実施しました。

高評価の項目について、「学校で楽しく過ごしている(項目5)」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が全体で90%を超えており、多くの児童が学校生活を楽しいと感じています。また、「仲の良い友達がいる(項目6)」では「そう思う」が92%と最多で、友人関係が良好であることが示されています。「安全に気を付けて登下校している(項目11)」では、94%と非常に高い評価を受けており、安全指導が効果的に行われていると考えられます。「学校のを大切に使っている(項目17)」についても96%と高い意識が持たれていることが分かります。

改善の余地がある項目について、「思ったことを発表したり、質問したりできる(項目2)」では、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の回答が全体の30%近くを占めており、発言や質問のハードルが高いと感じている児童がいることが伺えます。「宿題や家での学習に進んで取り組んでいる(項目3)」では、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の回答が全体の20%近くを占めており、能動的・自主的に学ぶ姿勢が十分に身に付いていないことが伺えます。他にも「本を読むのが好きか(項目4)」「早寝早起き(項目15)」において30%弱の児童が読書に対して消極的であったり、基本的な生活習慣の見直しが必要だったりすることが分かります。

これらの結果をふまえ、児童の自己有用感や主体性を伸ばしていけるように、日常的な指導方法の改善に学校全体で努めていきます。基本的な生活習慣の定着に向けて児童本人への助言だけではなく、家庭と連携し、協力を仰ぎながら改善していきます。本アンケートの結果を教員内で共有し、次年度の教育活動の向上や改善に結びつけていきます。教員一同、今後より一層努力してまいります。